

令和3年度事業報告

1. 目的

住まいは生活に不可欠な基盤であり、住まいに対して求められる条件は、家族構成、通勤通学地、世帯収入、住まいに関する嗜好等により異なるため、多様化する住宅確保要配慮者に対する手厚い住宅セーフティネットが求められている。

また、鎌倉市では、高齢化が急速に進んでおり、高齢者の居住の安定の確保が喫緊の課題となっており、市民意識調査においては、鎌倉市民のうち過半数の方が住み慣れた地域で住み続けることを希望している。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、職や住まいを失う（恐れのある）方の対応が急増している。

これらを踏まえ、住宅確保要配慮者向け住宅の供給促進、円滑な入居方策、生活支援等について関係者が協議・連携して行動することで、住宅確保要配慮者の居住の円滑化と生活の安定確保をきめ細かな対応で実現することを目的に、以下の事業を実施した。

2. 令和3年度事業の概要

協議会では、上記目的を達成するため、令和元年度において、次の業務を行った。

(1) 総会、幹事会、部会の開催

1) 定期総会

◆開催日 : 令和3年5月31日(月)

◆議案 : 事業計画案・予算案について審議・承認。

2) 幹事会(全6回)

①開催概要

	日程	テーマ
第1回 (書面)	令和3年5月20日(木)	幹事の選任、令和3年度事業計画(案)・予算(案)について
第2回	令和3年7月16日(金)	居住支援協議会相談窓口の相談事例から意見交換 ～事例提供: 鎌倉市社会福祉協議会～
第3回	令和3年8月17日(火)	会員団体の相談事例から意見交換 ～事例提供: インクルージョンネットかながわ～
第4回	令和3年10月1日(金)	居住支援協議会相談窓口の相談事例から意見交換 ～事例提供: 鎌倉市社会福祉協議会～
第5回	令和3年12月10日(金)	・居住支援協議会相談窓口の相談事例から意見交換 ・合同研修会の企画について
第6回 (書面)	令和4年3月18日(金)	令和4年度事業計画(案)、予算(案)について

②作成物

福祉関係従事者向け、貸主・不動産店向けガイドブックの改訂

昨年度作成した福祉関係者向けガイドブック「借りたくても借りられない人の住まい探しサポートブック」と貸主・不動産店向けガイドブック「貸主・不動産店も地域の担い手みんなで解決！つながるブック」が上記研修会等で積極的に配布したため、在庫が不足したことから、市役所窓口の時点修正を行い、改訂版を発行した。

◆発行部数 : 各 250 部

(2) その他の事業

1) 住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅等への入居支援（相談の実施：委託事業）

昨年度に引き続き、住宅確保要配慮者に対する住宅相談を実施。

相談事業者は公募し、業務委託契約を締結した。

昨年度作成した「相談対応マニュアル」を活用しながら、入居後の生活支援活動を含め、会員が連携した相談対応体制を構築しながら実施した。

◆選定事業者 : 社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

◆相談・入居実績（委託期間：令和3年7月26日～令和4年1月31日）

なお、件数には、重複した属性を含む。（外国籍で高齢者世帯、生活に困窮している障害者世帯等）

		内訳						
		高齢	障害	子育て	外国籍	生活困窮	DV被害	その他
相談件数	9	4	2	1	1	2	2	1
完了件数	9	4	2	1	1	2	2	1
うち転居	1	1	0	0	0	0	0	0

※件数には、重複した属性を含む（外国籍で高齢者世帯、生活に困窮している障害者世帯等）

◆参考資料 : 相談概要

2) 外国籍市民向けの生活支援ガイドブック活用講座（委託）

昨年度作成した、8言語対応（やさしい日本語含む）の外国籍市民向けのガイドブック『鎌倉でくらし』をテキストにして、市の関係部署や市内の不動産店を対象に、ガイドブックの具体的な活用方法を周知しながら、配慮が必要な住民への理解促進と対応方法のスキルアップを図った。

◆委託先 : (NPO) かながわ外国人住まいサポートセンター

◆開催日時 : 令和3年9月27日（月）午前の部 10:00～12:00
午後の部 13:30～15:30

◆参加者数 : 午前の部 16名 ・ 午後の部 17名 延べ33名

◆内 容

内容	講師
外国人のすまいと生活	かながわ外国人すまいサポートセンター
住まいの多言語ガイドブック活用法	

3) 貸主、不動産店向け研修会の開催

昨年度作成したガイドブックの内容と、日ごろから貸主・不動産店が住宅確保要配慮者の受け入れに対して感じている不安を軽減できる情報を提供するとともに、「かながわあんしん賃貸支援事業・協力店」への登録をよびかけた。

- ◆開催日時 : 令和3年11月29日(月) 14:00～16:00
- ◆会場 : 鎌倉商工会議所ホール
(会場とZoomを活用したリモートとのハイブリット開催)
- ◆参加者数 : 会場6名、リモート16名 計22名

◆内 容

時 間	テーマ	説明者	
14:00～	趣旨説明等	事務局	
14:10 ～14:40	居住支援はビジネスチャンス！ 居室内事故の「予防」で空き室対策	ホームネット(株) (県指定・居住支援法人)	
14:50 ～15:50	知っているようで知らない！？活用できる地域資源 ～事例を通じて、一緒に課題を解消しましょう～		
	14:50 ～15:10	地域包括支援センターって知っていますか？	鎌倉市地域包括支援センター
	15:10 ～15:30	身近にある障害者支援の窓口	鎌倉市基幹相談支援センター
	15:30 ～15:50	困ったら私たちに相談を ～生活困窮者自立支援相談窓口について～	鎌倉市生活福祉課
～16:00	事務連絡	事務局	

4) 福祉関係団体、生活支援団体等向け研修会の開催

昨年度作成したガイドブックの内容を中心に、住宅確保要配慮者の生活を支援する福祉関係の専門職を対象に、住まい探しの流れや必要事項等の基礎知識を提供した。

- ◆開催日時 : 令和3年12月8日(水) 14:00～16:00
- ◆会場 : 鎌倉商工会議所ホール
(会場とZoomを活用したリモートとのハイブリット開催)
- ◆参加者数 : 会場0名、リモート17名 計17名

◆内 容

時 間	テーマ	説明者
14：00 ～14：50	不動産店の立場で皆さんと連携したいこと	(株) プライム (県協議会・あんしん賃貸協力店)
15：00 ～15：20	不動産店や関係機関と連携した事例	鎌倉市地域包括支援センター
15：20 ～15：40		鎌倉地域支援室
～16：00	質疑応答・事務連絡	

5) 不動産関係者、福祉関係者の合同研修会

不動産店向け研修会および福祉関係者向け研修会を受講した方々を中心に、合同で研修を行い、お互いの理解促進と連携関係構築の第一歩を築くことを目的に2月24日に研修会を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、やむを得ず、次年度に延期することとなった。

(参考)

◇企画内容

時間	テーマ	講師
14：00～	オリエンテーション	事務局
14：05 ～15：05	【トーク】普段やっていること、困っていること	
	(45分) 不動産店の立場で	神奈川県宅地建物取引業協会鎌倉支部
	生活を支援する立場で	ラファエル会・鎌倉地域支援室
	行政の立場で	鎌倉市生活福祉課
(15分)	質疑応答	
15：15 ～16：25	【グループワーク】つながる、はじめの一步！	4～5人のグループ×6～7程度
	(5分) 進め方説明	事務局
	(15分) 各グループ意見交換①	何に困っていますか？
	(30分) 各グループ意見交換②	事例を通じて「連携」を体感！
	(20分) 意見交換内容の発表	3分程度／グループ
～16：50	名刺交換・情報交換	

6) HPによる情報提供（運営管理を委託）

協議会の活動内容を、ホームページを通じて市民や関係団体等に周知した。

特に今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で住まいを失う恐れのある方等の支援情報を神奈川県居住支援協議会と情報共有を図りながら、HPで情提供を行った。

◆参 考 : 鎌倉市居住支援協議会HP

<http://www.machikyo.or.jp/kyojyushien/kamakura/>

以上

令和3年度決算

[収入の部]

(単位:円)

中科目	予算額(A)	決算額(B)	増減△は減(B-A)	備考
1 補助金・委託費収入	4,396,878	4,399,915	3,037	
共生社会実現に向けた住宅セーフティ ネット機能強化・推進事業(補助)	4,396,878	4,399,915	3,037	国庫補助決定額(増額) 4,401,000円
2 雑収入	0	5,523	5,523	利息(横浜銀行) 会場使用料返還金
利息	0	3	3	利息(横浜銀行)
会場使用料返還金	0	5,520	5,520	合同研修会会場(9,210円) 中止に伴う返還金(60%)
3 借入金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづくり 協会から
4 前年度繰越金	3	3	0	
収入合計	4,896,881	(C) 4,905,441	8,560	

[支出の部]

(単位:円)

中科目	予算額(A)	決算額(B)	増減△は減(B-A)	備考
人件費*	2,023,200	1,986,050	△ 37,150	
事務局人件費	2,023,200	1,986,050	△ 37,150	業務の効率化による人件 費減
旅費*	8,000	8,140	140	
交通費	8,000	8,140	140	書面開催に係る議案説 明等に伴う出張の増
庁費*	2,365,678	2,411,245	45,567	
賃金	96,600	26,400	△ 70,200	新型コロナウイルス感染 拡大のため出勤を制限
謝金	40,000	20,000	△ 20,000	合同研修会延期のため
需用費	99,800	260,200	160,400	ガイドブック在庫不足の ため、追加印刷
役務費	29,000	2,035	△ 26,965	研修会開催等をメール 送信で対応
委託費	2,037,000	2,037,000	0	
使用料及び賃借料	63,278	65,610	2,332	安価な会場を確保できな かったため
予備費*	3	0	△ 3	
償還金	500,000	500,000	0	かながわ住まいまちづく り協会へ
支出合計	4,896,881	(D) 4,905,435	8,554	

※令和3年度単年度収支

収入額 (B)の1+2	支出額 (B)の*部分	単年度収支差額
4,405,438	4,405,435	3

収入額(C)	支出額(D)	収支差額(C)-(D)
4,905,441	4,905,435	6 (=次年度繰越金)